

鳥獣保護区の鳥類相 I - 渡り鳥保全調査事業 2008 年度 -

福井県自然保護センター *1

要旨：2008 年度に、福井県内の 9 か所の鳥獣保護区およびその新規設定候補地で、鳥類相とその繁殖状況を調査した。ラインセンサス調査を 10 地点でのべ 40 日間実施した結果、9 目 29 科 80 種の鳥類の生息と、3 目 15 科 17 種の鳥類の繁殖を確認した。希少な種としては、オオタカ、ハイタカ、クマタカ、イヌワシ、アカショウビン、オオアカゲラ、サンショウウイ、コサメビタキの生息と、サンコウチョウの繁殖が確認された。鳥獣保護区における定期的な鳥類相調査は、行政上の必要性だけでなく生物多様性の長期的・広域的モニタリングの視点からも有益であり、今後も継続して実施していく必要がある。

キーワード：鳥類相, ラインセンサス調査, 鳥獣保護区

Fukui Nature Conservation Center *1. 2009. Avifauna of Wildlife Protection Areas in Fukui Prefecture I: The results of the fiscal year 2008 bird census. *Ciconia* (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 14:1-9. We conducted a survey to study the avifauna and their breeding status at 7 Wildlife Protection Areas (WPA) and 2 candidate WPA sites in Fukui Prefecture during the fiscal year 2008. A total of 80 bird species (belonging to 29 families in 9 orders) were recorded at 10 sites over a period of 40 days in a line-census survey. Breeding behavior was observed in 17 species (belonging to 15 families in 3 orders). Subsequently, we observed the inhabitation of rare species such as *Accipiter gentilis*, *Accipiter nisus*, *Spizaetus nipalensis*, *Aquila chrysaetos*, *Halcyon coromanda*, *Dendrocopos leucotos*, *Pericrocotus divaricatus*, and *Muscicapa dauurica*, and the breeding behavior of *Terpsiphona atrocaudata*. Periodical avifaunal surveys in WPAs must be continued since this would provide administrative benefits as well as help in monitoring biodiversity on a regional scale for a long period.

Key words: avifauna, line-census survey, Wildlife Protection Area

はじめに

鳥獣保護区は、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」(環境省 2002)にもとづいて、鳥獣の保護を図ることを目的として指定されるものである。そしてその指定、管理等を適切におこなうために、鳥獣保護区やその新規指定の候補地となる地域において、鳥獣の生息状況等を調査することが、環境省告示による「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」(環境省 2007)において定められている。

福井県では、ガンカモ科鳥類生息調査(1969年～)や渡り鳥保全調査(1977年～)によって、県内における鳥類の生息状況を調査してきた。しかしこのうち、既設鳥獣保護区等を対象とした集中的な調査(福井県自然保護センター 1995a, 1995b, 1996, 1999, 2001, 2002)は 2000 年以降おこなわれていない。そこで 2007 年

度から 5 年間、県内の全鳥獣保護区を対象として、集中的な鳥類相調査をおこなうこととした。

本稿ではこの一連の調査のうち、2008 年度に調査を実施した 9 地区 10 地点の結果について報告する。

調査地と調査方法

調査は 2008 年 5 月 3 日から 2009 年 2 月 22 日までの期間に、7 か所の鳥獣保護区と、2 か所の鳥獣保護区の新規指定候補地で実施した(図 1; 表 1)。

調査は、鳥類の繁殖や渡り性鳥類(夏鳥, 冬鳥)の生息を把握するため、春, 夏, 秋, 冬の 4 回、のべ 40 日間実施した(表 1)。調査時期は、春が 5 月, 夏が 6 月から 7 月, 秋が 10 月, 冬が 12 月である。ただし春の調査は、姥ヶ岳鳥獣保護区候補地 B のみ 6 月に実施した。また冬の調査は、杣山鳥獣保護区, 小原鳥獣保護区候補地, 姥ヶ岳鳥獣保護区候補地 A では積雪の影響を避けるために 11 月末に実施した。また越前の



図1 調査地点の位置。

里鳥獣保護区では積雪のため、冬の調査を2月に実施した。

調査はラインセンサス法により実施した。7か所の鳥獣保護区と、小原鳥獣保護区候補地には1か所ずつ、姥ヶ岳鳥獣保護区候補地には2か所の調査ルートを設定した(図1;表1)。調査ルートの距離は、1.5 km から 3.3 km であった。ただし積雪時には、一部の調査ルートを変更(短縮)もしくは別に設定して調査を実施した。

設定した調査ルートを、鳥類が出現しやすい朝方に歩いて、調査ルートから左右 25 m、合計 50 m の範囲内で確認できた鳥類について、種ごとに個体数を記録した。また、25 m より外側あるいは調査終了後に確認した鳥類については種名のみを記録した。また、営巣、育雛、巣立ち雛を確認した場合には、その種が繁殖していると判断した。

結果と考察

本調査により、9目29科80種の鳥類が記録された(表2)。福井県産の鳥類は、1982年から1997年までに計292種が記録されているが(福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会1998)、本調査ではその27.3%が記録されたことになる。

本調査で確認された鳥類のうち、国(環境省2007)もしくは福井県(福井県福祉環境部自然保護課2002)のレッドリスト掲載種は、以下の通りである: オオタカ *Accipiter gentilis* (準絶滅危惧(NT)); 県域絶滅危惧I類), ハイタカ *Accipiter nisus* (準絶滅危惧(NT)); 県域絶滅危惧II類), クマタカ *Spizaetus nipalensis* (絶滅危惧IB類(EN)); 県域絶滅危惧I類), イヌワシ *Aquila chrysaetos* (絶滅危惧IB類(EN)); 県域絶滅危惧I類),

表 1 調査の概要 .

調査地点	標準地域 メッシュ [†]	標高 [†] (m)	調査時期	調査月日	調査者	踏査距離 (km)	調査面積 (ha)	確認種数 [‡] (種)	確認個体数 [§] (個体)
織田鳥獣保護区	53367072	580	春	5/05	三原学	3.1	15.1	23	58
			夏	7/07	吉田一朗	"	"	18	89
			秋	10/25	"	"	"	17	143
			冬	12/14	"	"	"	8	33
杣山鳥獣保護区	53365157	484	春	5/03	三原学	2.0	9.6	25	62
			夏	6/20	鈴川文夫	"	"	16	42
			秋	10/22	"	"	"	20	85
			冬	11/26	"	"	"	18	56
南六呂師鳥獣保護区	54360428	730	春	5/06	三原学	2.8	13.4	22	65
			夏	6/20	柳町邦光	"	"	25	162
			秋	10/03	"	"	"	16	166
			冬	12/02	"	"	"	15	62
亀山鳥獣保護区	53367388	240	春	5/06	三原学	1.5	5.8	21	63
			夏	6/25	柳町邦光	"	"	15	130
			秋	10/04	"	"	"	16	123
			冬	12/04	"	"	"	19	119
越前の里鳥獣保護区	53366159	259	春	5/07	三原学	2.5	12.3	21	44
			夏	6/28	横山大八	"	"	21	127
			秋	10/19	"	"	"	25	109
			冬	2/22	"	"	"	10	31
池河内鳥獣保護区	53363171	295	春	5/03	三原学	2.3	11.5	21	67
			夏	5/25	辻義次	"	"	31	97
			秋	10/21	"	"	"	23	132
			冬	12/04	"	"	"	22	123
西山公園鳥獣保護区	53367144	79	春	5/07	三原学	2.0	8.7	19	61
			夏	6/18	納村力	"	"	15	75
			秋	10/08	"	"	"	11	55
			冬	12/04	"	"	"	18	78
小原鳥獣保護区 候補地	54360581	1058	春	5/08	三原学	3.1	15.1	33	53
			夏	7/05	"	2.7	13.4	25	57
			秋	10/02	"	"	"	16	50
			冬 [#]	11/26	"	3.3	15.2	13	24
姥ヶ岳鳥獣保護区 候補地 A	53365379	1323	春	5/19	三原学	2.3	11.7	10	33
			夏	7/01	"	"	"	21	79
			秋	10/04	"	"	"	22	70
			冬	11/27	"	1.2	6.0	13	26
姥ヶ岳鳥獣保護区 候補地 B	53365455	687	春	6/13	三原学	1.6	8.0	19	40
			夏	7/06	"	"	"	16	47
			秋	10/03	"	"	"	20	63
			冬	12/01	"	"	"	18	46

† 調査ルートの中間地点の値 .

‡ 調査範囲外で確認された種も含めた種数 .

§ 調査範囲内で確認された個体のみの値 .

|| 積雪のため、調査ルートを一部変更して実施 .

積雪のため、低標高地に調査ルートを新規設定して実施 .

アカショウビン *Halcyon coromanda* (県域準絶滅危惧), オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (県域準絶滅危惧), サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (絶滅危惧 II 類 (VU); 県域絶滅危惧 II 類), コサメビタキ *Muscicapa dauurica* (県域準絶滅危惧), サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (県域準絶滅危惧) .

繁殖は, 3 目 15 科 17 種の鳥類で確認された (表 2) . しかし春もしくは夏の調査で確認された種は, その確認がなくても繁殖している可能性がある . 特筆すべき種として, 池河内鳥獣保護区でサンコウチョウ (県域準絶滅危惧) の繁殖が確認された .

すべての調査地点で確認された種は, アオゲラ *Picus awokera* , コゲラ *Dendrocopos kizuki* , ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* , ウグイス *Cettia diphone* , ヤマガラ *Parus varius* , シジウカラ *Parus major* , メジロ *Zosterops japonicus* およびハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* であった (表 2) . これらはすべて, 本県ではほぼ周年観察される種であった (福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会 1998) .

すべての調査地点で, 30 種以上の鳥類が確認された (表 2) . 最も確認種数が多かった調査地は池河内鳥獣保護区で, 計 49 種が確認された . また 山鳥獣保護区と小原鳥獣保護区候補地では, 計 41 種の鳥類が確認された .

本調査の調査日数は年 4 回のみであり, 地域の鳥類相を十分に把握できる調査頻度ではない (大迫ほか 1996) . また種の識別や繁殖状況を明らかにするためには, 標識調査も含めた精密な調査が必要である (大迫 1989) . このため, 鳥獣保護区の管理上の必要性によっては, 追加調査が求められる場合も考えられる .

一方, 本調査のように, 一時期に多地点で同じ方法で鳥類相を把握する調査は, 局所的のみならず広域的な鳥類相を把握できる利点がある . とくに鳥獣保護区のように, 過去の知見が蓄積されている地域で定期的に鳥類相調査をおこなうことは, 鳥類をはじめとする自然環境の長期的な変化をモニタリングする上で有益と考えられるため, 今後も継続的に調査を実施していく必要がある .

謝辞

現地調査を 7 人の方におこなっていただいた (表 1) . ここに記して感謝する .

引用文献

- 福井県福祉環境部自然保護課 (編) . 2002 . 福井県の絶滅のおそれのある野生動物 : 福井県レッドデータブック (動物編) 2002 . 福井県, 福井 .
- 福井県自然保護センター . 1995a . 渡り鳥保全調査報告 1992 年度 : 鳥獣保護区の鳥類相 I . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 4:1-8 .
- 福井県自然保護センター . 1995b . 渡り鳥保全調査報告 1993 年度 : 鳥獣保護区の鳥類相 II . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 4:9-16 .
- 福井県自然保護センター . 1996 . 渡り鳥保全調査報告 1994 年度 : 鳥獣保護区の鳥類相 III . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 5:1-7 .
- 福井県自然保護センター . 1999 . 渡り鳥保全調査報告 1997 年度 : 鳥獣保護区・休猟区の鳥類相 IV . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 8:1-8 .
- 福井県自然保護センター . 2001 . 渡り鳥保全調査報告 1999 年度 : 鳥獣保護区の鳥類相 V . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 9:17-23 .
- 福井県自然保護センター . 2002 . 渡り鳥保全調査報告 2000 年度 : 鳥獣保護区の鳥類相 VI . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告) 10:1-8 .
- 福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会 (編) . 1998 . 福井の鳥とけものたち . 福井県県民生活部自然保護課, 福井 .
- 環境省 . 2002 . 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 (平成 14 年法律第 88 号) .
- 環境省 . 2007 . 鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針 (平成 19 年 1 月 29 日環境省告示第 3 号) .
- 環境省自然環境局野生生物課 . 2007 . 哺乳類, 汽水・淡水魚類, 昆虫類, 貝類, 植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて (平成 19 年 8 月 3 日付け報道発表資料) . 環境省自然環境局野生生物課, 東京 .
- 大迫義人 . 1989 . 鳥類相調査における捕獲, ラインセンスと定点観察の特性 . Strix 8:179-186 .
- 大迫義人・納村力・多田雅充 . 1996 . 福井県の丘陵地における鳥類相の効率的な調査日数と調査時期 . Ciconia (福井県自然保護センター研究報告)

5:39-45 .